

4-4. 歴史的・文化的環境

4-4-1. 文化財

事業計画地周辺における文化財の状況は表 4-4-1 及び、図 4-4-1 に示すとおりである。

事業計画地周辺には、堺環濠都市遺跡、旧堺燈台などが点在する。

4-4-2. 歴史的・文化的景観

「堺の環境（平成 20 年版）」（平成 20 年、堺市）によると、堺市には、歴史的文化遺産がいたるところに存在し、以下のとおり記載されている。

考古学的には、船尾丘陵を中心に縄文時代後期より弥生・古墳時代を経て奈良時代まで至る「古泉州人」の生活の姿を伝える史跡四ッ池遺跡、古墳時代では仁徳陵古墳を中心におよそ 50 基におよぶ大小の古墳からなる百舌鳥古墳群や黒姫山古墳、その築造にかかわった人々の生活跡である土師遺跡、須恵器の大生産地であった泉北丘陵の陶邑窯跡群、さらに中世には河内鋳物師の活動拠点集落の余部日置荘遺跡・太井遺跡、堺環濠都市遺跡など、貴重な遺跡・遺構などが数多く検出されている。

歴史的構造物は、旧市域では中世以来度重なる大火や戦火により多くが消失したものの、江戸時代の雰囲気を残す鉄砲鍛冶屋敷の井上家住宅（北旅籠町）や山口家住宅（錦之町）、郊外や泉北地域でも宅地開発が進んでいる中で、大庄屋の居宅である高林家住宅（百舌鳥赤畑町）など中世以来続く郷士の邸宅などが現存している。また、堺繁栄の基のひとつでもあった鉄砲や包丁産業は、美原区における鋳物師集団によるところが大きく、それらを顕彰する施設（みはら歴史博物館）や碑も同区域には点在している。

4-4-3. 都市景観

「堺の環境（平成 20 年版）」（平成 20 年、堺市）によると、以下のとおり記載されている。堺市の都市景観は、旧市街地を中心とする地域、泉北ニュータウンを中心とする地域、これらに挟まれた地域の 3 つに大きく分かれている。旧市街地を中心とする地域はほぼ全域にわたり区画整理され、主要幹線道路やそれらをつなぐ街路は歩道及び街路樹が整備されるなど整然とした町並みを呈している。泉北ニュータウンは、新住宅市街地開発事業により開発されたため計画的に道路空間や広場空間が整備されるなど、ゆとりのある静かで落ち着いた町並みを形成している。この二つに挟まれた地域は、既成市街地、計画的住宅地、新興住宅地、旧集落地などが混在している。

また、事業計画地は臨海工場地帯の真ん中にあり、事業計画地に接して西側は堺浜中小企業クラスター事業（工業団地）が建設中である。そのさらに西側には、現在進出中の大規模な液晶工場及びその関連工場がある。北側には物流基地、約 400～800m には商業施設及びアミューズメント施設等がある。計画地周辺における都市景観を構成する主な要素は、これらの工場や商業施設等となっている。

表 4-4-1 堺市の指定文化財

(指定文化財)

図中番号	文化財名称	指定・種別	
1	旧堺燈台	国	史跡
2	開口神社 紙本著色大寺縁起	国	重要文化財
	短刀「銘 吉光」	国	重要文化財
	伏見天皇宸翰御歌集	国	重要文化財
	開口神社文書	府指	有形文化財
3	祥雲寺庭園	府指	名勝
	祥雲寺 絹本著色釈迦二声聞像	国	重要文化財
	祥雲寺 絹本著色沢庵和尚像	国	重要文化財
4	長谷寺 紙本著色和泉長谷寺縁起	府指	有形文化財
5	妙法寺 法華經宝塔曼荼羅図	市	有形文化財
6	専称寺 絹本著色阿弥陀三尊来迎図	府指	有形文化財
7	長泉寺 絹本著色閻魔王図	国	重要文化財
8	大安寺本堂	国	重要文化財
	大安寺本堂障壁画	国	重要文化財
9	海会寺本堂・庫裏及び門廊	国	重要文化財
	牡丹花詩集	市	有形文化財
10	南宗寺庭園	国	名勝
	南宗寺仏殿・山門・唐門	国	重要文化財

(埋蔵文化財包蔵地)

図中番号	文化財名称
11	堺台場跡
12	旧堺港
13	堺環濠都市遺跡
14	南安井町遺跡
15	京町通遺跡
16	浄光寺本堂跡

注) 表中の番号は、図 4-4-1 に対応している。

備考) 国 : 文化財保護法による指定

府指 : 大阪府文化財保護条例による指定

市 : 堺市文化財保護条例による指定

出典 : 「堺市文化財地図」(平成 14 年、堺市教育委員会) より作成

